

笑顔で「さようなら」



4月11日（金）のこと

各務原市産業文化センターで業務を終えた私は、学びの森東の駐車場へ向かって歩いていました。ちょうど下校時刻と重なり、桜丘中学校の女子生徒3名の帰宅途中のところに会いました。

新年度が始まって5日目、着任式・始業式・対面式・命を守る訓練で、全校生徒の前で話す機会がありましたが、生徒とともに活動する機会はまだありません。私のことを桜丘中学校の教頭と認識しているだろうか。突然声を掛けられ、不審者と思われたいだろうか。という考えが一瞬頭をよぎりました。同時に、桜丘中学校区が「あいさつ」を重点取組にしていること、自分から地域の方にあいさつすることを大切にしていることも思い出しました。

私から「さようなら」とあいさつをしました。

3人の女子生徒は笑顔で会釈しながら「さようなら」とあいさつをしました。

その後、帰宅途中の男子生徒2名と会いました。同様に私から「さようなら」とあいさつをしました。彼らも笑顔で会釈しながら「さようなら」と私にあいさつをしました。

業務が山積し余裕がない私の心にさわやかで温かな空気を生徒が運んでくれました。「人との関わりを大切にできる生徒たち」だなと感じました。

毎年教職員は異動があります。生徒は3年間の在籍で中学校を卒業します。教師が生徒と関われる時間はわずかです。家庭で地域で、人との関わりを大切にしてくださっていることが生徒たちの姿から伝わってきた瞬間でした。

今年度も学校運営協議会の取組にご協力をお願いいたします。

教頭 後藤 弘行

### さくら学園構想

R7. 3月桜丘中学校区学校運営協議会

＝各務原市におけるコミュニティスクール＝

9年間を通して、地域住民の一人として成長していく「地域の子どもたち」に願う姿を地域ぐるみで考え、実践することで、誇り・やさしさ・活力があり、郷土を愛する児童生徒を育成していくことを目指す。

＝桜丘中学校区の教育目標＝

地域社会の一員として、人との関わりを大切に共に最後までやり抜く子の育成  
自立・共生・自己実現

めざす姿 ・明るく笑顔であいさつを交わせる子

・家族や地域の一員として協力して活動できる子

誰もが安心して学べる学校

お互いが助け合い、協力し合う関係を高める

・学校間の連携を通して、互いを理解したり、小学校から中学校へのスムーズな移行を目指したりしていきます。

わが子の健やかな成長を

自分のことは自分でできる基本的な生活習慣を身に付ける

・学校、保護者、地域が共通理解のもと、児童生徒の健やかな成長を目指して、児童生徒のよさを大いに褒めることを大切にしていきます。

地域の一員としての自覚を

さまざまな体験を通して、地域や地域に生きる人々のよさを知る

・学校と地域をつなぐ機会を設定していきます。  
(合同資源回収、市青少年育成市民会議など)

R6・7年度は、「あいさつ」を重点として取り組んでいます。

学校運営協議会での意見

(令和7年2月7日 第4回桜丘中学校区学校運営協議会にて)

・「その子らしさ」を大切に「あいさつ」を互いに認め合うことで、児童生徒の安心感や落ち着いた生活につながっている。「大きな声で元気よいあいさつ」「笑顔での会釈」「アイコンタクトによるあいさつ」といったさまざまな形で「あいさつ」が、一人一人を大切にするための基盤になっている。

・あいさつすることを通して周囲と関わることで安心感を感じ取り、自分を表現することに自信をもったり、集団などに対する所属感を感じたりすることができる。

・桜丘中学校区が「あいさつ」に取り組んでいることを、色々な場において発信して地域に広めていくことが、学校運営協議会としての役割である。

